

ミズベ
スクール 2

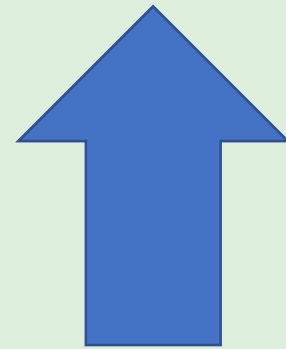
MIZUBE SCHOOL 2

2019.2.18

*in Osaka Joint Government Building No. 1
The First Annex Main Conference Room*

ミズベ人材育成

制度を使いこなし
ミズベの利活用が進む



ミズベ人材育成

ミズベ人材とは？

- 未来志向である
- 領域横断、立場を超えられること
- 巻き込み力があること、巻き込み力への理解があること
- 好奇心が旺盛であること
- なぜ、を問えること、問い続けられること
- 実践を大切にすること
- 人間関係、信用を大切にすること
- 発信することの大切さを理解していること
- ルールをつくれること、ルールを守れること
- 制度を理解していること、使いこなせること

2019.02.18 岩本調べ

ミズベ人材育成における学びとは

教える側



教わる側

教わる側

教わる側

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

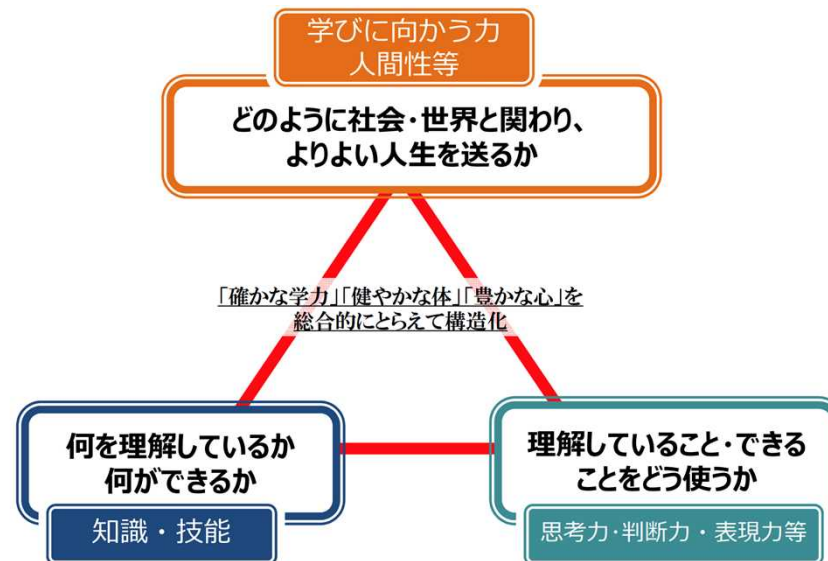
知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

- 未来志向である
- 立場を超えられること
- 好奇心が旺盛であること
- 人間関係、信用を大切にすること
- ルールを守れること

* 20190218
岩本調べ



http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdfを援用

- 領域横断、立場を超えられることの理解
- 巻き込み力への理解
- なぜ、を問えること、問い続けられることを理解
- 実践を大切にすることを理解
- 発信することの大切さを理解
- ルールをつくれること、ルールを守れること
- 制度を理解していること、

- 巻き込み力があること
- なぜ、を問い続けられること
- 実践を大切にし、実践すること
- 発信すること
- ルールをつくれること、ルールを守れること
- 制度を使いこなせること

主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



学びを人生や社会に
生かそうとする
**学びに向かう力・
人間性等の涵養**

生きて働く
**知識・技能の
習得**

未知の状況にも
対応できる
**思考力・判断力・表現力
等の育成**

主体的な学び
対話的な学び



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る

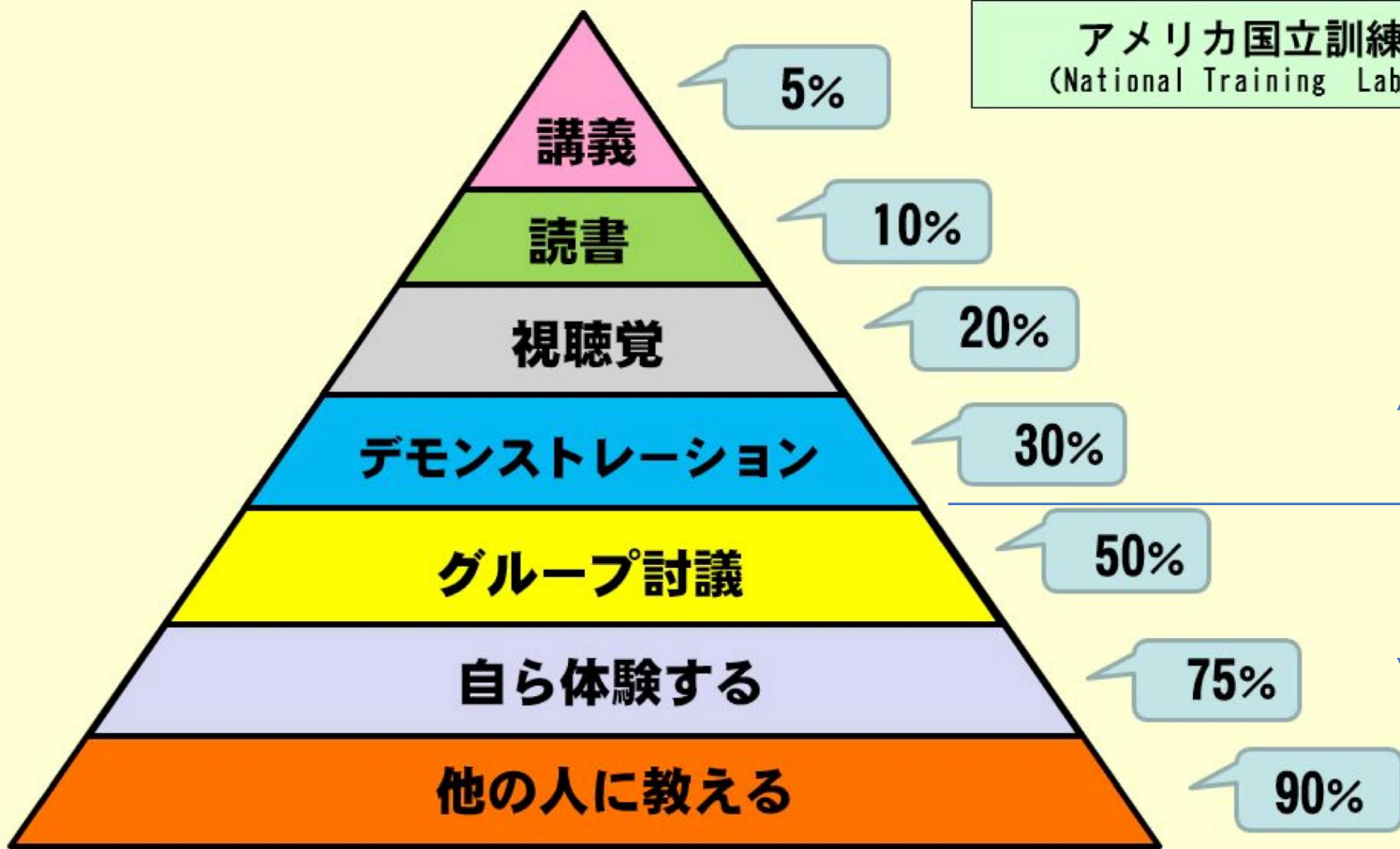


【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「**見方・考え方**」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

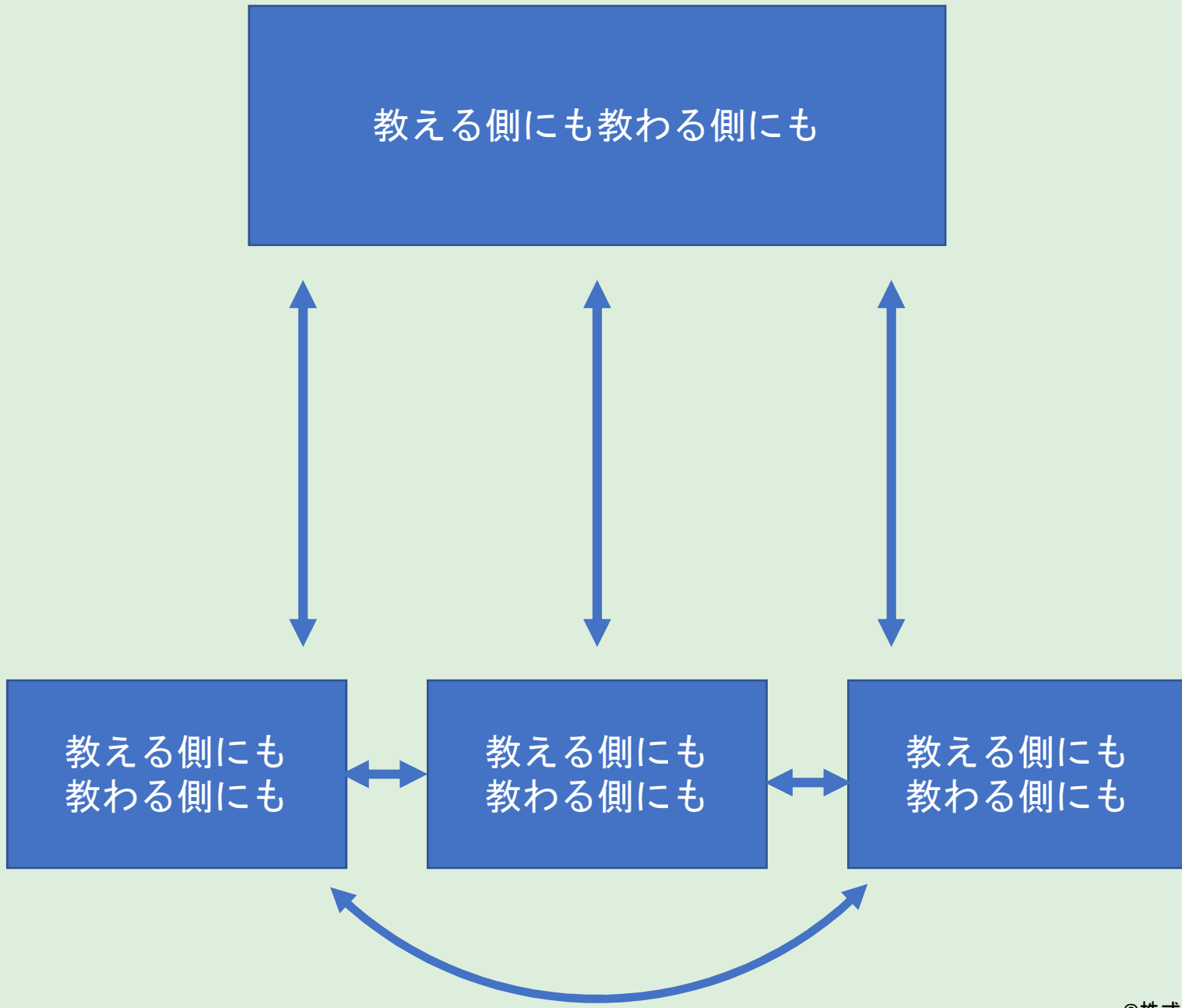
【例】

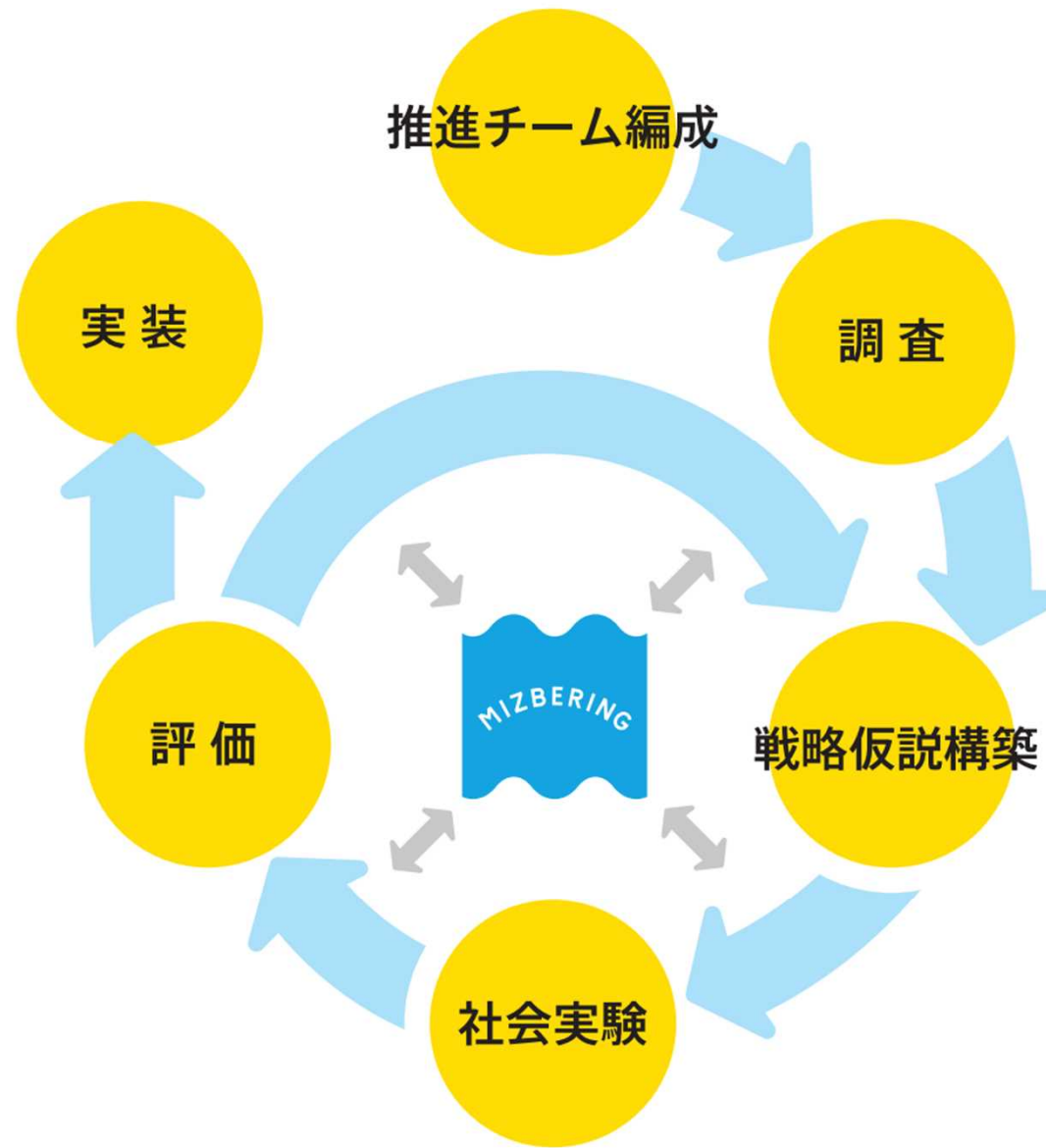
- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく



アメリカ国立訓練研究所
(National Training Laboratories)

<http://social-studies33.com/2016/08/16/ラーニング・ピラミッドとは?/> より

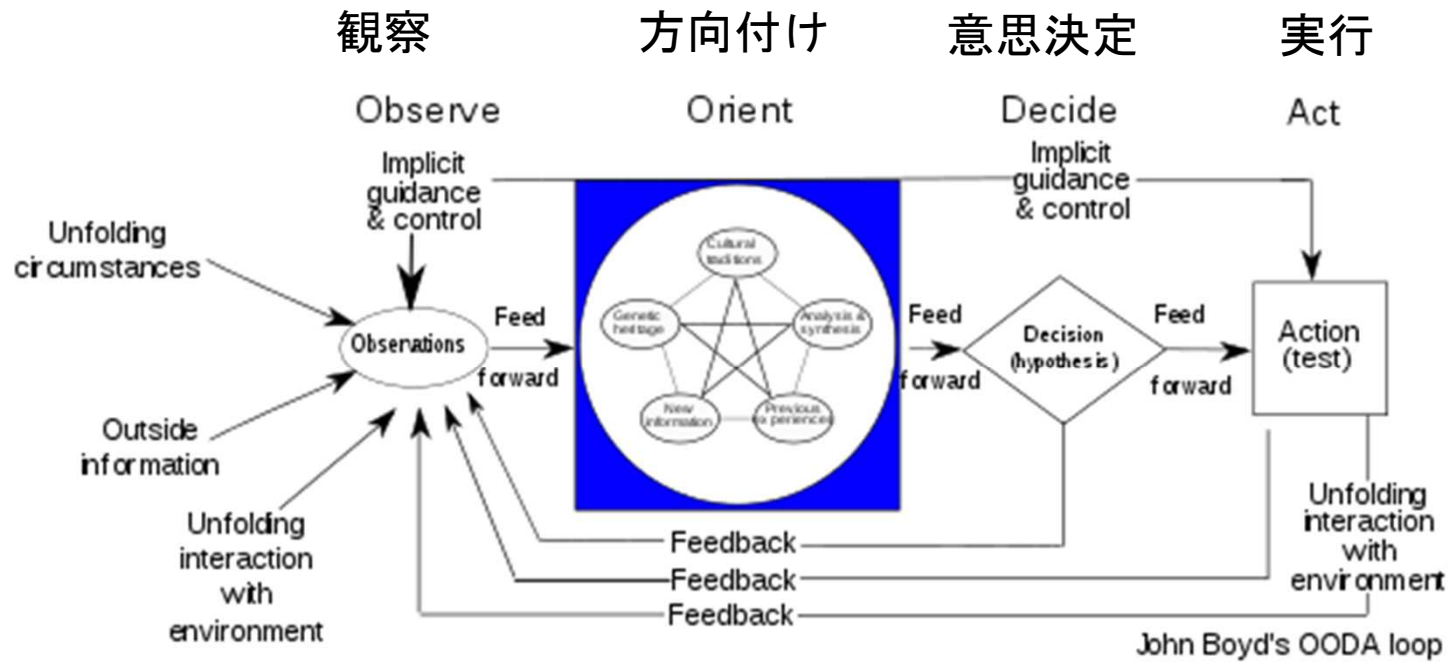




ミズベリング・フィードバックサイクル

ビジョンブックP3から

OODA ループ



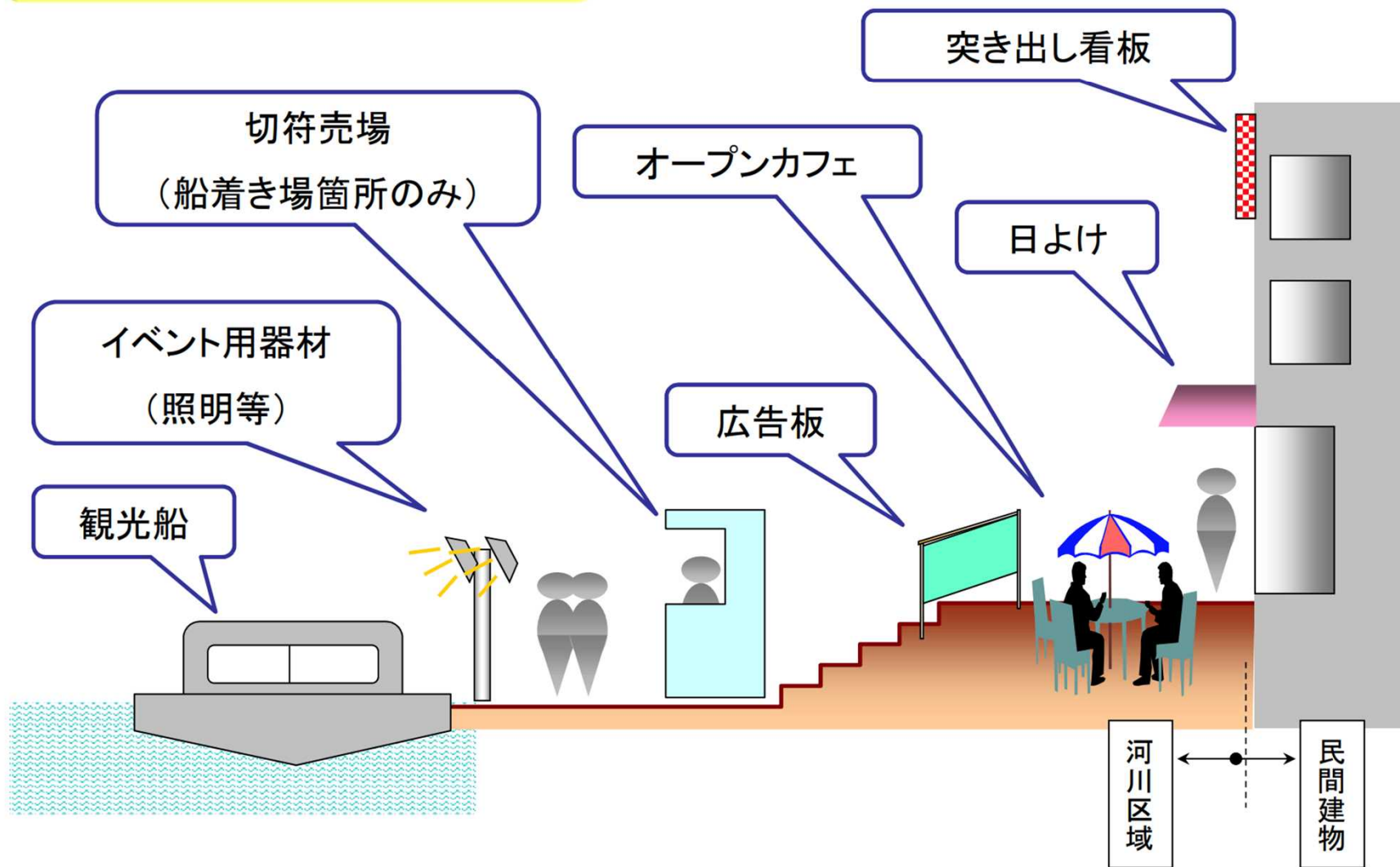
フィードバック

経営視点のまちづくりに重要な“マネジメント”手法

学び=フィードバック

2. 河川空間のオープン化について ②

河川空間利用のイメージ



ここにいる誰しもが、学び
ここにいる誰しもが、教える

そのためのセッション



MIZUBERING WORLDCAFE

ミズベリング・ワールドカフェ

